Dell™ Studio 1535/1536

クイックリファレンスガイド

モデル PP33L

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、および警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ n シリーズコンピュータを購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

モデル PP33L

2008 年 2 月　　P/N F439C　　Rev.A00

目次

情報の検索方法

メモ : 一部の機能はオプションのため、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能もあります。

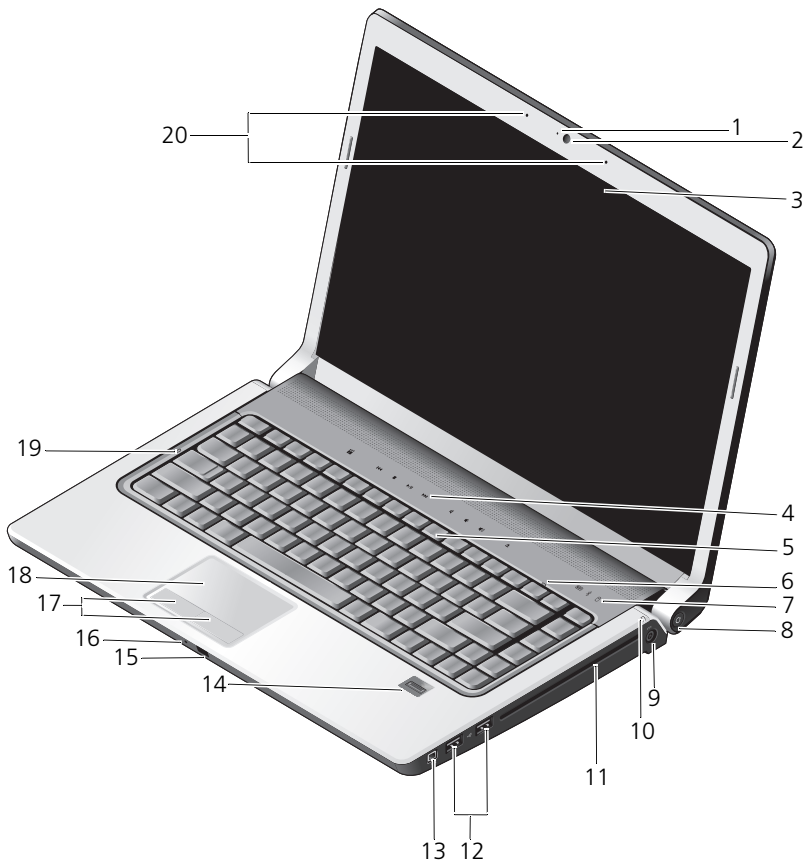
メモ : 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合もあります。

ドキュメント / メディア / ラベル	**内容**
サービスタグおよびエクスプレスサービスコード コンピュータ下部にあります。	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を参照の際、またはサポートへの連絡の際に、お客様のコンピュータを識別するために使用されます。 • サポートに電話でご連絡いただく際に、エクスプレスサービスコードを入力すると、適切な部署へ転送されます。
モデル番号 コンピュータ下部にあるサービスタグの横にあります。	お使いのコンピュータのモデル番号です。
Drivers and Utilities メディア	• お使いのコンピュータ用の Diagnostics（診断）プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ • デバイスのマニュアル • ノートブックシステムソフトウェア（NSS） 『Drivers and Utilities』メディアに収録されている Readme ファイルには、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。 **メモ :** ドライバとマニュアルのアップデートに関しては、**support.jp.dell.com** をご覧ください。
セットアップ図	お使いのコンピュータのセットアップ方法
サービスマニュアル デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でご利用いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法
Dell Technology Guide Windows Help and Support（ヘルプとサポート）（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート））、およびデルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）でご利用いただけます。	• お使いのオペレーティングシステムについて • 周辺機器の使い方とメンテナンス • インターネット、E- メールなどのテクノロジについて

ドキュメント / メディア / ラベル	内容
サービスタグおよびエクスプレスサービスコード	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。
Microsoft Windows ライセンスラベル バッテリの実装部にあります。	お使いのオペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー） **メモ :** このラベルは、Microsoft オペレーティングシステムを搭載しているシステムでのみご利用いただけます。
Dell サポートセンター	• セルフヘルプ（トラブルシューティング、セキュリティ、システムパフォーマンス、ネットワーク / インターネット、バックアップ / リカバリ、および Windows Vista） • 警告（テクニカルサポートによるお使いのコンピュータに関する警告） • Dell によるサポート（DellConnect™ による技術サポート、カスタマーサービス、トレーニングとチュートリアル、デルオンコールによるハウツーヘルプ、および PC CheckUp によるオンラインスキャン） • お使いのシステムについて（システムマニュアル、保証情報、システム情報、アップグレードとアクセサリ） **メモ :** お使いのコンピュータで利用できる Dell サポートセンターの機能は、構成によって異なります。
Dell QuickSet ヘルプ	ネットワークアクティビティ、ホットキー、および Dell QuickSet で制御されるその他のアイテムに関する詳細情報。 Dell QuickSet ヘルプを表示するには、Windows タスクトレイの Dell QuickSet アイコンを右クリックします。

1

コンピュータについて

正面図および右側面図

1	カメラインジケータ（オプション）	2	カメラ（オプション）
3	ディスプレイ	4	メディアコントロールボタン（9）
5	キーボード	6	Num Lock ライト
7	デバイスステータスライト	8	電源ボタン
9	AC アダプタコネクタ	10	バッテリステータスライト
11	光学ドライブ	12	USB コネクタ（2）
13	IEEE コネクタ	14	指紋リーダー（オプション）
15	Consumer IR	16	アナログマイク
17	タッチパッドボタン（2）	18	タッチパッド
19	Caps Lock ライト	20	デジタルアレイマイク（オプション）

カメラインジケータ — カメラがオンの状態になっているかどうかを示します。お使いのコンピュータの注文時に選択した構成により、コンピュータにカメラが搭載されていない場合があります。

カメラ — ビデオキャプチャ、会議、およびチャット用のビルトインカメラです。お使いのコンピュータの注文時に選択した構成により、コンピュータにカメラが搭載されていない場合があります。

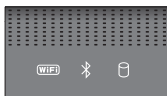
ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、『Dell Technology Guide』を参照してください。

メディアコントロールボタン — CD、DVD、Blu-ray、およびメディアプレイヤーの再生をコントロールします。

	Dell MediaDirect の起動		音を消す
⏮	直前のトラックを再生		音量を下げる
■	停止		音量を上げる
▶/II	再生または一時停止	⏏	ディスクを取り出す
⏭	直後のトラックを再生		

キーボード — バックライト付きキーボードは、オプション機能です。バックライト付きキーボードを購入された場合は、Dell QuickSet で設定を変更できます。キーボードの詳細については、『Dell Technology Guide』を参照してください。

NUM LOCK ライト — Num Lock が有効になると点灯します。

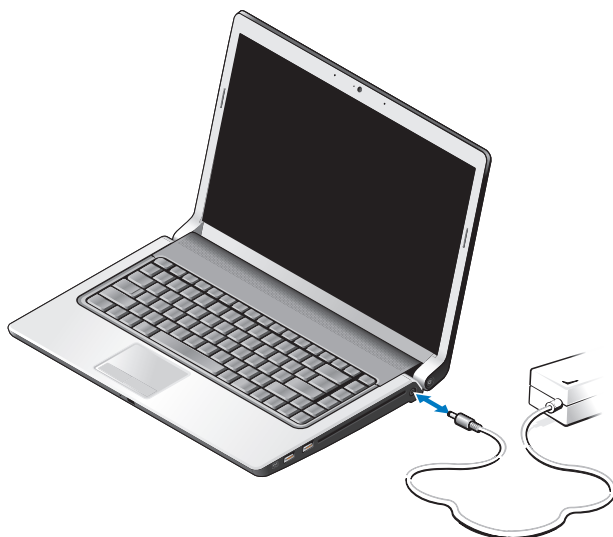
デバイスステータスライト

コンピュータの前面方向、パームレスト上に配置されているライトは、以下の状態を示します。

WiFi	Wi–Fi ステータスライト – ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効、または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します（15 ページの「ワイヤレスオン / オフスイッチ」を参照）。
	Bluetooth® ステータスライト – Bluetooth ワイヤレステクノロジカードが有効になると点灯します。 **メモ :** Bluetooth ワイヤレステクノロジカードは、オプション機能です。お使いのコンピュータと一緒にカードを注文された場合のみ ライトが点灯します。詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。 Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能だけを無効にするには、タスクトレイにある アイコンを右クリックし、**Disable Bluetooth Radio**（Bluetooth ラジオの無効化）をクリックします。Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能を再度有効にするには、タスクトレイにある アイコンを右クリックし、**Enable Bluetooth Radio**（Bluetooth ラジオの有効化）をクリックします。 すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効、または無効にするには、ワイヤレススイッチを使用します。
	ハードディスクドライブ動作ライト – コンピュータがデータを読み取り、または書き込みしている場合に点灯します。 **注意 :** データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。

電源ボタン — コンピュータの電源を入れるか、もしくは省電力モードを終了するときに電源ボタンを押します。

注意 : コンピュータが応答しなくなった場合、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

注意 : データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムのシャットダウンを実行してください。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意：ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

メモ：電源コードとアダプタをしっかりと接続し、緑色の LED が点灯しているかを確認します。

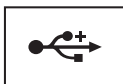
バッテリステータスライト — 常時点灯、または点滅してバッテリの充電状態を示します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、バッテリステータスライトは次のように動作します。

– 白色の点灯：バッテリが充電中であり、十分に充電されている状態か、バッテリの充電が完了している
– 消灯：バッテリが十分に充電されている（またはコンピュータの電源が切れている）
– 橙色の点灯：バッテリの充電残量が低下している
– 橙色の点滅：バッテリの充電残量が非常に低下している

光学ドライブ — 光学ドライブの詳細については、『Dell Technology Guide』を参照してください。

 メモ : 光学ドライブでは、標準の 12.7 cm 円形ディスクがサポートされています。変形ディスクや 12.7 cm よりも小さなディスクはサポートされていません。

USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394a 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。

指紋リーダー（オプション）— Dell™ コンピュータのセキュリティ保護に使用します。指紋リーダーの上で指をスライドさせると、ユーザー固有の指紋を使用して身元確認が行われます。制御セキュリティ管理ソフトウェア、DigitalPersona Personal を使用すると、システムトレイに、リーダーが使用できる状態であるかを示す指紋リーダーアイコンが表示され、メニュー上の主要なコンポーネントや機能に簡単にアクセスできます。リーダーが指紋をスキャンできる状態である場合は、通常、リーダーアイコンが表示されます。スキャンを実行できない場合は、赤色の X が、リーダーアイコン上に表示されます。また、指紋スキャンが処理されている間は、アイコンが赤く点滅します。

DigitalPersona Personal の有効化、および使用する方法の詳細については、**Start**（スタート）→ **Programs**（プログラム）→ **DigitalPersona Personal** をクリックしてください。このメニューでは次のサブ項目が利用できます。

- **Fingerprint Enrollment Wizard**（指紋登録ウィザード）- 指紋を登録します。
- **Fingerprint Logon Manager**（指紋ログオンマネージャ）- Fingerprint Logons（指紋ログオン）に関連するプロパティを追加、削除、または変更します。
- **Import and Export Wizard**（インポートおよびエクスポートウィザード）- 他のコンピュータに指紋をインポートする、またはユーザーレベルのバックアップとして使用するために、指紋情報をファイルへエクスポートします。この機能により、お使いのコンピュータのアップグレード時や指紋リーダーを 2 台目のコンピュータに追加する場合に、データを再入力する必要がなくなります。ただし、DigitalPersona Personal データのエクスポート先のコンピュータで指紋を登録する必要があります。
- **Properties**（プロパティ）- DigitalPersona Personal 設定および製品の動作を設定します。詳細に関しては、**DigitalPersona Online Help**（DigitalPersona オンラインヘルプ）→ **Using DigitalPersona Personal Features**（DigitalPersona Personal 機能の使い方）→ **General Settings**（全般設定）を参照してください。
- **Check for Updates**（アップデートのチェック）- ソフトウェアアップデートの提供とインストール、およびアップデートオプションのチェックを行います。この機能を使用するには、インターネットに接続している必要があります。アップデートは手動、または自動でチェックできます。
- **Help**（ヘルプ）- HTML 形式のヘルプです。

CONSUMER IR — Dell Travel Remote を使用するための赤外線センサーです。

アナログマイク — 会議およびチャット用の内蔵単一マイクです。

メモ：オプションのカメラおよびデジタルアレイマイクを注文されなかった場合のみ、アナログマイクが搭載されます。

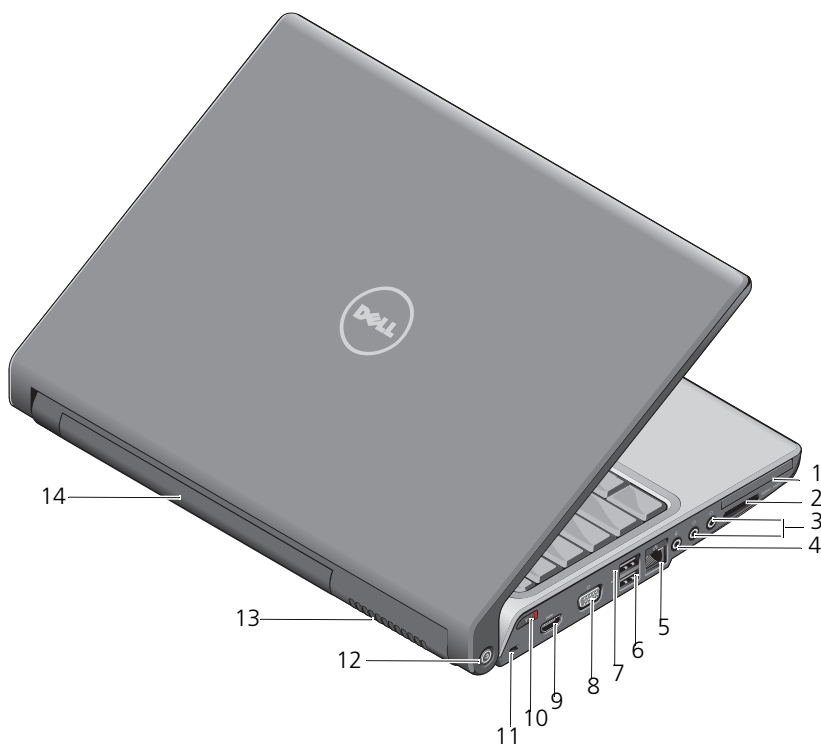
タッチパッドボタン — タッチパッドを使ってディスプレイ上でカーソルを動かすときに、マウスのボタンと同じようにこれらのボタンを使用します。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます。

CAPS LOCK ライト — Caps Lock が有効になると点灯します。

デジタルアレイマイク — 会議およびチャット用の高品質ビルトインマイクです。これらマイクでは、異音をフィルタし、さらに上質な音を提供します。

メモ：デジタルアレイマイクはオプションであり、オプションのカメラを注文されない限り、お使いのコンピュータに搭載されていない場合があります。その代わりに、お使いのコンピュータには内蔵単一アナログマイクが搭載されます。

背面図および左側面図

1	ExpressCard スロット	2	8-in-1 メディアカードリーダー
3	ヘッドフォンコネクタ（2）	4	マイクコネクタ
5	ネットワークコネクタ（RJ-45）	6	USB コネクタ
7	eSATA コネクタ *	8	VGA コネクタ
9	HDMI コネクタ	10	ワイヤレススイッチ
11	セキュリティケーブルスロット	12	Wi-Fi catcher ネットワークロケータ
13	通気孔	14	バッテリ

* Studio 1535 システムには、eSATA コネクタの代わりに、追加の USB コネクタが搭載されています。

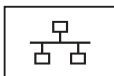
EXPRESSCARD スロット — 1 枚の ExpressCard をサポートします。コンピュータには、出荷時に PC カードスロットへプラスチックのダミーカードが取り付けられています。

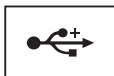
8-IN-1 メディアカードリーダー — メディアメモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。コンピュータには、出荷時にスロットへプラスチックのダミーカードが取り付けられています。8-in-1 メモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD メモリカード
- SDIO カード
- マルチメディアカード（MMC）
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD ピクチャカード
- 高速 SD
- 高密度 SD

オーディオコネクタ

	のコネクタにヘッドフォンを接続
	のコネクタにマイクを接続

ネットワークコネクタ（RJ-45）

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある 2 個のライトは、ワイヤネットワーク接続のステータスと活動状況を示します。 ネットワークアダプタの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属しているデバイスのユーザーズガイドを参照してください。

USB コネクタ

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

ESATA コネクタ

	外付けのハードディスクドライブや光学ドライブなどの eSATA 互換のストレージデバイスを接続します。

メモ：eSATA コネクタは、Studio 1536 でのみ利用できます。

ビデオコネクタ

	モニタなどのビデオデバイスを接続します。

HDMI コネクタ — HDMI（High-Definition Multimedia Interface）コネクタでは、非圧縮全デジタル信号を伝達し、高解像度の映像および音声を実現します。

ワイヤレスオン / オフスイッチ — このスイッチを使用して、ワイヤレス LAN カードおよび Bluetooth ワイヤレステクノロジ内蔵カードなどの、ワイヤレスデバイスを素早くオン、またはオフにします。お使いの Dell コンピュータのワイヤレススイッチは、Dell Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ（15 ページの「Wi-Fi Catcher™ ネットワークロケータ」を参照）を使用して周辺のワイヤレスネットワークを取り込みます。お使いのコンピュータが出荷された時点で、ワイヤレススイッチは有効となっており、設定が済んでいますが、Dell QuickSet または BIOS（セットアップユーティリティ）で、設定を変更することができます。

1	オフ	ワイヤレスデバイスを無効にする
2	オン	ワイヤレスデバイスを有効にする

セキュリティケーブルスロット — 市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。

WI-FI CATCHER™ ネットワークロケータ — このボタンを数秒間押して、周辺のワイヤレスネットワークを取り込みます。

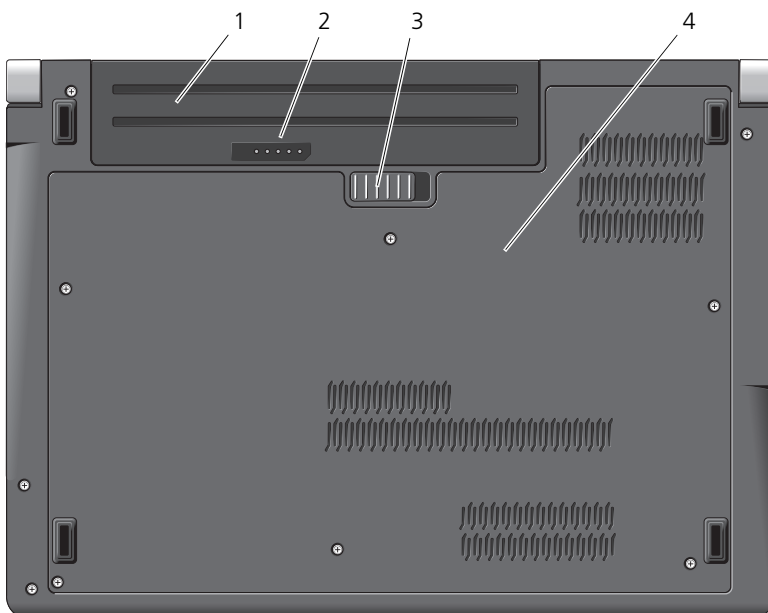
Wi-Fi Catcher ネットワークロケータには、次のように動作するライトが搭載されています。

- 白色の点滅：ネットワークの検索中
- 10 秒間白色で点灯してから、オフになる：ネットワーク検出終了
- オフ（白色で 10 回点滅した後にオフ）：信号が検出されない

お使いのコンピュータは出荷された時点で、Wi-Fi Catcher ネットワークロケータは有効となっており、設定が済んでいます。Wi-Fi Catcher ネットワークロケータの詳細および Dell QuickSet による機能の有効化に関しては、タスクトレイの QuickSet アイコンを右クリックしてから、Help（ヘルプ）を選択します。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。コンピュータが高温になると、ファンは自動的に動作します。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

底面図

1	バッテリ	2	バッテリ充電 / 機能ゲージ
3	バッテリリリースラッチ	4	ベースカバー

バッテリ — バッテリを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続せずに使用することができます。

メモ : コンピュータを AC アダプタでコンセントに接続すると、画面は最も明るく表示され、バッテリの充電も同時に行われます。

バッテリ充電 / 機能ゲージ — バッテリ充電の情報を提供します。

バッテリリリースラッチ — バッテリを取り外します。

ベースカバー — プロセッサや、ハードディスクドライブ、メモリモジュール、ワイヤレス LAN、ワイヤレス WAN、または Ultra Wideband（UWB）カードを収容する実装部です。

バッテリの取り外しおよび取り付け

警告 : 適切でないバッテリを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリを使用しないでください。

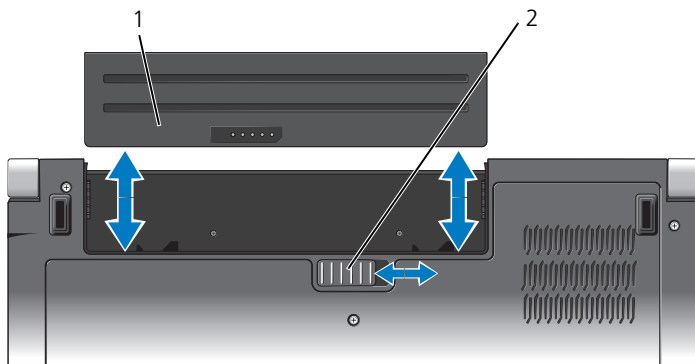
警告 : この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

注意 : コネクタへの損傷を防ぐため、すべての外付けケーブルをコンピュータから外してください。

注意 : コンピュータをスリープ状態にしてバッテリを交換する場合は、1 分以内にバッテリを交換してください。1 分が経過するとコンピュータがシャットダウンし、保存されていないデータは失われます。

バッテリを取り外すには、次の手順を実行します。

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. コンピュータを裏返します。
3. バッテリリリースラッチをコンピュータの側面方向にカチッとはまるまでスライドさせます。
4. バッテリをスライドさせてベイから取り出します。

1	バッテリ	2	バッテリリリースラッチ

バッテリを取り付けるには、バッテリが所定の位置でカチッと収まるまでベイにスライドさせます。

ベースカバーの取り外しおよび取り付け

 警告 : コンピュータ内部の作業を行う前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。

 警告 : この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタをコンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。

 注意 : 静電放電を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面(コンピュータの裏面にあるコネクタなど)に触れたりして、静電気を除去します。

ベースカバーを取り外すには、以下の手順を行います。

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 バッテリを取り外します(17 ページの「バッテリの取り外しおよび取り付け」を参照)。

3 ベースカバーの 6 本のネジを緩め、図で示されているとおりの角度で、コンピュータからカバーを持ち上げます。

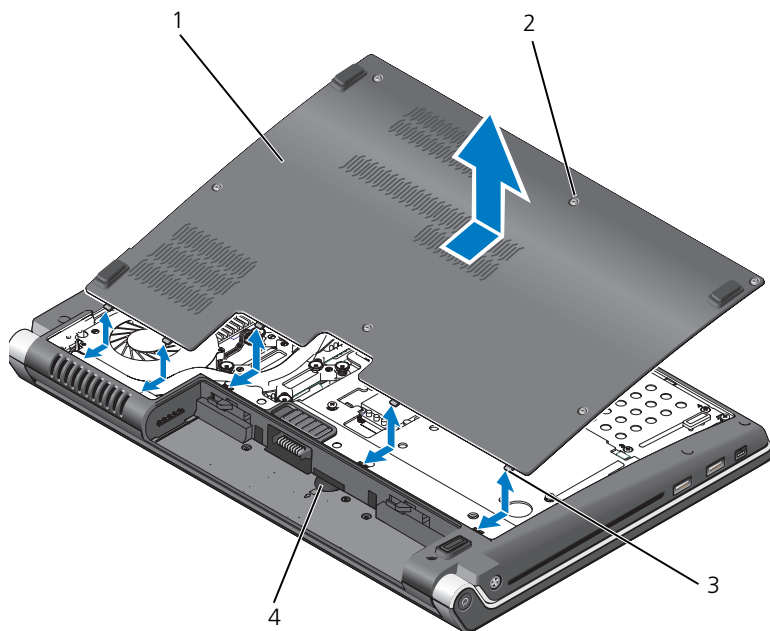
警告 : プロセッサのサーマル冷却アセンブリに触れないでください。プロセッサコンポーネントは、訓練を受けたサポート担当者だけが取り外しできます。

パーツの取り外し、および取り付けの手順に関しては、**support.jp.dell.com** で『サービスマニュアル』を参照してください。

ベースカバーを取り付けるには、以下の手順を行います。

1 ベースカバーのタブをコンピュータの底部に合わせます。

2 6 本のネジをベースカバーに取り付けて、締め付けます。

3 バッテリを取り付けます（17 ページの「バッテリの取り外しおよび取り付け」を参照）。

1	ベースカバー	2	拘束ネジ（6）
3	タブ	4	SIM カードスロット

2

仕様

 メモ：提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの設定の詳細に関しては、**Start**（スタート）をクリックして、**Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックし、お使いのコンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Studio 1535： • Intel® Celeron™ プロセッサ • Intel® Pentium™ プロセッサ • Intel® Core™ 2 プロセッサ Studio 1536： • AMD® Sempron™ プロセッサ • AMD® Athlon™ デュアルコアプロセッサ • AMD® Turion™ デュアルコアプロセッサ • AMD® Turion™ ウルトラデュアルコアプロセッサ
L1 キャッシュ	64 KB（Intel：コアごとに 32 KB） 256 KB（AMD：コアごとに 128 KB）
L2 キャッシュ	512 KB（AMD Sempron） 1 MB（Intel Pentium、Intel Celeron、AMD Athlon、AMD Turion） 2 MB または 3 MB（Intel Core 2 Duo、AMD Turion Ultra） 6 MB（Intel Core 2 Duo）
外付けバスの周波数	533 MHz（Intel Celeron、Intel Pentium デュアルコア）
ハイパートランスポート（AMD）	667 MHz/800 MHz（Intel Core 2 Duo） 2.66 GHz（AMD Turion ウルトラデュアルコア）

システム情報	
システムチップセット	Intel GM/PM 965（Studio 1535） AMD M780G（Studio 1536）
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネル（2）64 ビットバス
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	2 MB
グラフィックスバス	PCI-E X16
PCI バス	32 ビット

ExpressCard	
メモ：ExpressCard スロットは、ExpressCards 専用に設計されています。PC カードはサポートしません。	
ExpressCard コントローラ	Intel ICH8M（Studio 1535） AMD M780G（Studio 1536）
ExpressCard コネクタ	ExpressCard スロット（54 mm）x 1
サポートするカード	ExpressCard/34（34 mm） ExpressCard/54（54 mm） 3.3 V および 1.5 V
ExpressCard コネクタサイズ	26 ピン

8-in-1 メモリカードリーダー	
8-in-1 メモリカードコントローラ	Ricoh R5C833
8-in-1 メモリカードコネクタ	8-in-1 コンボカードコネクタ
サポートするカード	• SD • SDIO • マルチメディアカード（MMC） • メモリスティック • メモリスティック PRO • xD ピクチャカード • 高速 SD • 高密度 SD

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM コネクタ x 2
メモリモジュールの容量	512 MB、1 GB、2 GB
メモリのタイプ	800 MHz SODIMM DDR2
最小メモリ	512 MB（シングルチャンネル）
最大搭載メモリ	4 GB（デュアルチャネル 2G x 2）

メモ：デュアルチャネル帯域幅の機能を活用するには、両方のメモリスロットを使用し、メモリサイズを一致させる必要があります。

メモ：メモリの一部はシステムファイル用に確保されているため、表示される使用可能なメモリ容量は、取り付けられているメモリの最大容量を反映していません。

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ x 2
IEEE 1394a	4 ピンシリアルコネクタ（オプション）
Consumer IR	Philips RC6 互換センサー（受信のみ）
ミニカード	Type IIIA ミニカードスロット x 2、ハーフサイズミニカードスロット x 1
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
eSATA	4 ピン eSATA/USB コンボコネクタ（Studio 1536 でのみ利用可能）x 1
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ（Studio 1535）x 4 4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ（Studio 1535）x 3
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
HDMI	19 ピン

通信	
モデム：	
タイプ	外付け V.92 56K USB モデム
コントローラ	ハードウェアモデム
インタフェース	ユニバーサルシリアルバス（USB）
ネットワークアダプタ	システム基板上の 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵 ワイヤレス LAN（ハーフサイズミニカード）、ワイヤレス WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジミニカード、UWB（オプション）ミニカード ワイヤレス WAN ExpressCard Bluetooth® ワイヤレステクノロジ

ビデオ	
外付け：	
ビデオタイプ	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	ATI Mobility Radeon HD 3450
ビデオメモリ	GDDR2 256 MB
UMA：	
ビデオタイプ	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	モバイル Intel GMA X3100、ATI Radeon™ HD 3200 グラフィックス
ビデオメモリ	Intel：最大 358 MB の共有メモリ AMD：最大 256 MB の共有メモリ（32 MB の専用ローカルフレームバッファ）
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	HDMI 1.2

オーディオ	
オーディオタイプ	IDT 92HD73C ハイ・デフィニッション・オーディオコーデック
オーディオコントローラ	5.1 チャネルハイ・デフィニッション・オーディオ
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	Intel ハイ・デフィニッション・オーディオ
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ × 2
スピーカー	4 Ω スピーカ × 2
内蔵スピーカーアンプ	チャネルごと 2 ワット（4 Ω）
ボリュームコントロール	プログラムメニュー、メディアコントロールボタン

ディスプレイ	
タイプ（TrueLife）	15.4 インチ CCFL Anti-Glare WXGA 15.4 インチ CCFL TrueLife WXGA+ 15.4 インチ CCFL TrueLife WUXGA 15.4 インチ TrueLife WXGA+WLED
寸法：	
縦幅	207 mm
横幅	331.2 mm
対角線	391.2 mm
最大解像度：	
WXGA AG	262,000 色で 1280 × 800
TrueLife WXGA+	262,000 色で 1440 × 900
TrueLife WUXGA+	262,000 色で 1600 × 1200
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0（閉じた状態）～ 140°

ディスプレイ（続き）	
可視角度：	
水平方向	± 40° （WXGA AG） ± 55° （TrueLife WXGA+） ± 55° （TrueLife WUXGA+）
垂直方向	+15° /–30° （WXGA AG） ± 45° （TrueLife WXGA+） ± 45° （TrueLife WUXGA+）
ピクセルピッチ：	
WXGA AG	0.258 mm
TrueLife WXGA+	0.2304 mm
TrueLife WUXGA+	0.1725 mm
コントロール	輝度はキーボードショートカットキーによって調整可能です（詳細は、『Dell Technology Guide』を参照）。

メディア	
ドライブ	DVD+/-RW
インタフェース	Roxio Creator 10 DE および Roxio Creator 10 Premier - Ultimate Dell MediaDirect™ 4.0

キーボード	
キー数	86（米国および カナダ）、102（ヨーロッパ）、105（日本）、104（ブラジル）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

メモ：バックライト付きキーボードはオプションです。

カメラ（オプション）	
ピクセル	2.0 メガピクセル
ビデオ解像度	320 x 240 ～ 1600 x 1200 （30 fps で 640 x 480）
斜め可視角度	66°

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法：	
横幅	73.09 mm のセンサー感知領域
縦幅	40.09 mm の長方形

バッテリ	
タイプ	9 セル「スマート」リチウムイオン 6 セル「スマート」リチウムイオン 4 セル「スマート」リチウムイオン
寸法：	
長さ	48.3 mm（4/6/9 セル）
縦幅	20.4 mm（4/6 セル） 37.8 mm（9 セル）
横幅	206.6 mm（4/6 セル） 284.9 mm（9 セル）
重量	0.24 kg（4 セル） 0.34 kg（6 セル） 0.5 kg（9 セル）
電圧	11.1 VDC（6/9 セル） 14.8 VDC（4 セル）
充電時間（概算）：	
電源が切れている場合	4 時間
動作時間	バッテリ駆動時間は動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。 バッテリの動作時間の詳細については、『Dell Technology Guide』を参照してください。
寿命（概算）	300 回（充電 / 放電）
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
コイン型電池	CR-2032

AC アダプタ	
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電流	
65 W	3.34 A（連続稼動の場合） 4.34 A（最大 4 秒パルス時）
90 W	4.62 A（連続稼動の場合） 5.62 A（最大 4 秒パルス時）
出力電力	65 W または 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
65 W	
縦幅	28.2 mm
横幅	57.9 mm
長さ	137.2 mm
90 W	
縦幅	34.2 mm
横幅	60.9 mm
長さ	153.42 m
重量（ケーブルを除く）	
65 W	0.29 kg
90 W	0.345 kg
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
コネクタの種類：	
DC コネクタ	3 ピン、7.4 mm プラグ
AC コネクタ	2 ピン、C7（日本のみ） 3 ピン、C5

寸法	
縦幅	25.3 mm ～ 38.5 mm
横幅	355 mm
長さ	261.9 mm
重量（4 セルバッテリ装着の場合）：	
構成可能な最大重量	2.68 kg

環境	
温度範囲：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（動作時は、動作中かつデータにアクセスしていない状態のハードディスクドライブおよび 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定。保管時は、ヘッド固定位置のハードディスクドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定）：	
動作時	110 G
保管時	160 G
高度（最大）：	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

3

トラブルシューティング

Dell テクニカル Update Service

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E- メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受ける頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。

利用可能な Diagnostics（診断）

購入いただいた Dell コンピュータによっては、ハードディスクドライブのユーティリティパーティションから利用できる拡張 Dell 32 Bit Diagnostics（診断）が搭載されている場合があり、追加のトラブルシューティングに使用できます。

PSA Diagnostics（診断）および Dell 32 Bit Diagnostics（診断）を使用する場合

コンピュータに問題が生じた場合、デルのテクニカルサポートに問い合わせる前に、42 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」のチェック事項を行い、PSA Diagnostics（診断）および Dell 32 Bit Diagnostics（診断）を実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

メモ : PSA および Dell 32 Bit Diagnostics（診断）は、Dell コンピュータ上でのみ動作します。

セットアップユーティティを起動して、お使いのコンピュータの設定情報を閲覧し、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、有効となっていることを確認します（セットアップユーティリティの詳細は、『Dell Technology Guide』を参照）。

Dell 32 Bit Diagnostics（診断）は、ハードディスクドライブまたは『Drivers and Utilities』メディアから起動します。

PSA Diagnostics（診断）をコンピュータから起動

メモ：コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ：本項で参照されている、ユーティリティパーティションから Dell 32 Bit Diagnostics（診断）を使用したトラブルシューティングは、お使いのコンピュータによって利用できない場合があります。

1 コンピュータがコンセントに接続されていることを確認します。
2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
3 PSA Diagnostics（診断）は、次の 2 つの方法のいずれかで起動します。

 a DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから Diagnostics（診断）を選択し、<Enter> を押します。

 メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして、操作をやりなおしてください。

 メモ：オプション B を試す前に、コンピュータの電源を切る必要があります。

 b コンピュータが起動するまで、<Fn> キーを押し続けます。

画面の指示に従って、**Diagnostics**（診断）を選択し、一連の PSA テストを開始します。起動前セルフアセスメント（PSA）が実行され、システム基板、キーボード、ハードディスクドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- アセスメントの実行中にプロンプトが表示された場合は、入力を行います。
- 問題が検出された場合、コンピュータはビープ音を出して停止します。システムのアセスメントを停止してコンピュータを再起動するには <n> を、次のテストを続けるには <y> を、障害のあるコンポーネントを再テストするには <r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

起動前システムアセスメントが無事に終了し、お使いのシステムに Dell 32 Bit Diagnostics が搭載されている場合、`Booting Dell Diagnostics Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell Diagnostics（診断）プログラムユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）というメッセージが表示されます。

4 任意のキーを押すと、Dell 32 Bit Diagnostics（診断）が起動します。

Dell 32 Bit Diagnostics（診断）を Drivers and Utilities メディアから起動

メモ : 購入いただいた Dell コンピュータによって、本項で参照されている『Drivers and Utilities』メディアで利用できる拡張 Dell 32 Bit Diagnostics（診断）が追加で搭載されていない場合があります。

1. 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。
2. コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
3. DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   注意 : キーボードのキーを長時間押したままにすると、キーボードエラーが発生する場合があります。キーボードエラーを回避するには、起動デバイスメニューが表示されるまで、<F12> を押して放す操作を等間隔で行ってください。

4. 起動デバイスメニューで、上下矢印キーを使用して、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示し、<Enter> を押します。

   メモ : クイックブート機能により、一回のみ起動順序が変更されます。再起動すると、コンピュータはセットアップユーティリティで指定された起動順序に従って起動します。

5. 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
6. `1` を入力して、**Drivers and Utilities** メニューを起動し、<Enter> を押します。
7. 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
8. Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** で、実行するテストを選択します。

   メモ : エラーコードと問題の説明を画面の表示どおりに記録し、指示に従います。

9. すべてのテストが完了したら、テストウィンドウを閉じ、Dell 診断プログラムの **Main Menu** に戻ります。
10. 『Drivers and Utilities』メディアを取り出して、**Main Menu** ウィンドウを閉じ、Diagnostics（診断）を終了します。 コンピュータを再起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

メモ：コンピュータの完全なテストを実行する場合は、Test System を選択することをお勧めします。

オプション	機能
Test Memory	スタンドアロンメモリのテストを実行
Test System	システムの Diagnostics（診断）を実行
Exit	Diagnostics（診断）を終了

Main Menu から Test System オプションを選択すると、次のメニューが表示されます。

メモ：コンピュータのデバイスの完全なチェックを実行する場合は、Extended Test を選択することをお勧めします。

オプション	機能
Express Test	システムデバイスのクイックテストを実行します。このテストは通常 10 ～ 20 分かかり、途中でユーザーが操作する必要はありません。最初に Express Test を実行すると、問題をさらにすばやく特定できる可能性が増します。
Extended Test	システムデバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、時々表示される個々の質問に回答を入力する必要があります。
Custom Test	システム内の特定のデバイスをテストします。このオプションを使用して、実行するテストをカスタマイズすることができます。
Symptom Tree	一般的な症状が一覧表示され、発生している問題の症状に基づいてテストを選択できます。

テスト中に問題が検出されると、エラーコードと問題を説明するメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を正確にそのまま書き留め、画面の指示に従います。問題を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

メモ：お使いのコンピュータのサービスタグは、各テスト画面の上部にあります。デルにお問い合わせになると、サービスタグを尋ねられますので、事前に確認しておいてください。

以下のタブには、**Custom Test** または **Symptom Tree** オプションから実行されるテストの追加情報が表示されます。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストの説明が表示されます。テスト実行の要件があれば、その説明も表示されます。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムは、セットアップユーティリティ、メモリ、およびさまざまな内部テストからすべてのデバイスの設定情報を入手し、画面の左側ペインのデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

Dell サポートセンター

Dell サポートセンターでは、必要なサービス情報やサポート情報、およびシステム別の情報を提供しています。Dell サポートセンターおよび利用できるサポートツールの詳細に関しては、**support.jp.dell.com** の **サービス** タブをクリックします。

アプリケーションを実行するには、タスクバーの アイコンをクリックします。ホームページでは、以下にアクセスするリンクが提供されています。

- ヘルプ（トラブルシューティング、セキュリティ、システムパフォーマンス、ネットワーク / インターネット、バックアップ / リカバリ、および Windows Vista）
- 警告（お使いのコンピュータに関連するテクニカルサポートの警告）
- デルによるサポート（DellConnect™ による技術サポート、カスタマーサービス、トレーニングとチュートリアル、デルオンコールによるハウツーヘルプ、および PC CheckUp によるオンラインスキャン）
- お使いのシステムについて（システムのマニュアル、保証情報、システム情報、アップデートとアクセサリ）

Dell サポートセンターのホームページの上部には、お使いのシステムのモデル番号と共にサービスタグ、およびエクスプレスサービスコードが表示されます。

Dell Support Center（デルサポートセンター）の詳細については、『Dell Technology Guide』を参照してください。Windows Help and Support（ヘルプとサポート）（**Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート））およびデルサポートサイトでご利用いただけます。

ドライブの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。**

以下を確認しながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します —

- **Start**（スタート） → **Computer**（コンピュータ）をクリックします。

ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブを確認します —

- 別の CD、DVD、または BD を挿入して、元のメディアに不具合がないことを確認します。
- 起動メディアを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクのクリーニングします —『Dell Technology Guide』を参照してください。

ケーブル接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — ソフトウェアおよびハードウェアの問題に関するトラブルシューティングの手順については、『Dell Technology Guide』を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照してください。

ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードディスクドライブが高温になっていると、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1. **Start**（スタート） → **Computer**（コンピュータ）をクリックします。
2. **Local Disk (C:)**（ローカルディスク（C:））を右クリックします。

3 **Properties**（プロパティ）→ **Tools**（ツール）→ **Check Now**（チェックする）をクリックします。

メモ : User Account Control（ユーザーアカウント制御）ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**Continue**（続行）をクリックします。管理者でない場合は、目的の操作を行うために管理者に連絡します。

4 **Scan for and attempt recovery of bad sectors**（不良なセクタをスキャンし回復する）にチェックマークを入れてから **Start**（スタート）をクリックします。

エラーメッセージ

以下を確認しながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー — タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました — マイクロプロセッサに内蔵の一次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません（36 ページの「ドライブの問題」を参照）。

データエラー — ハードディスクドライブからデータを読み取ることができません（36 ページの「ドライブの問題」を参照）。

使用可能メモリが減少しています — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します（メモリモジュールの交換手順については、『サービスマニュアル』を参照）。

ディスク C：初期化失敗 — ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムのハードディスクドライブテストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

ドライブの準備ができていません — 操作を続行する前に、ベイにはハードディスクドライブが必要です。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます。

拡張メモリの容量が変更されています — NVRAM に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎるか、ディスク使用量がいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には ¥ / : * ? “ < > | といった記号は使用できません — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

ゲート A20 障害 — メモリモジュールがしっかりと取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

一般的な障害 — オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報（たとえば、`Printer out of paper` [プリンタの用紙がありません]）が続きます。 適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

ハードディスクドライブ障害 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

ハードディスクドライブ読み取りエラー — ハードディスクドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外して、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Disk Drive** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

起動可能なメディアを挿入してください — オペレーティングシステムは、CD などの起動用ではないメディアから起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入します。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください — システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティで対応するオプションを修正します。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Stuck Key** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

MEDIADIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル著作権管理（DRM）制限を検証できないため、ライセンスファイルを再生できません。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のプログラム、またはユーティリティと拮抗しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。再度プログラムを実行してみます。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 遇数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが取り付けられているか、適切に装着されているか、および起動デバイスとして区分（パーティション）されているか確認します。

ハードディスクドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

十分なメモリまたはリソースがありません。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおしてください — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードディスクドライブを取り付けなおします。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

オプション ROM の CHECKSUM が違います — オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）とクリックします。
2 **Programs**（プログラム）で、**Uninstall a Program**（プログラムのアンインストール）をクリックします。
3 削除するプログラムを選択します。
4 **Uninstall**（アンインストール）をクリックして、画面に表示される指示に従います。
5 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。手順については、Windows Help and Support（ヘルプとサポート）を参照してください（**Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリック）。多くのセクターに障害がある場合、データをバックアップして、ハードディスクドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンエラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

内部時計の電力低下 — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合は、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試してからすぐにプログラムを終了します。メッセージが再度表示される場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

時計の停止 — システム設定をサポートする予備バッテリに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで保存した時刻または日付がシステムクロックと一致しません。**Date** および **Time** オプションの設定を修正します。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みあり — キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

X:¥ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告：バッテリの充電残量が極めて低下しています — バッテリの充電量が不足しています。バッテリを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モードを有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。

コンピュータが起動しない場合

AC アダプタを確認します — AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します。

コンピュータの反応が停止した場合

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す場合

プログラムを終了します —

1 <Crtl><Shift><Esc> を同時に押します。

2 **Applications**（アプリケーション）タブをクリックし、反応しなくなったプログラムを選択します。

3 **End Task**（タスクの終了）をクリックします。

メモ : コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面の指示に従います。

ソフトウェアのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたは DVD に収録されています。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム用に設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します — プログラム互換性モードとは、Windows の以前のバージョン用に作成されたプログラムを実行できるようにする Windows のモードです。詳細は、WindowsHelp and Support（ヘルプとサポート）で、program compatibility wizard（プログラム互換性ウィザード）というキーワードを検索します。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

メモリの問題

以下を確認しながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。**

メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。
- メモリモジュールを抜き差しして、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを抜き差しして、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照）。

電源の問題

以下を確認しながら、54 ページの「診断チェックリスト」に記入してください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに付属の『安全にお使いいただくための注意』に従ってください。

電源ライトを確認 — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスリープ状態に入っています。電源ボタンを押してスリープ状態を終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリを充電 — バッテリが充電されていない場合があります。

1. バッテリを再度取り付けます。
2. AC アダプタを使用してコンピュータとコンセントに接続します。
3. コンピュータの電源を入れます。

メモ : バッテリ駆動時間（バッテリの充電が保持されている時間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリを購入する必要がある場合もあります。

バッテリステータスライトを確認 — バッテリステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリは充電が不足しているか、充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリステータスライトが青色と橙色に点滅している場合、バッテリが高温になっているために充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリステータスライトが橙色に速く点滅している場合、バッテリが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください（55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

バッテリの温度を確認 — バッテリの温度が 0 ℃ 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認 — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

AC アダプタを確認 — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続 — パワープロテクションデバイス、電源タップ、拡張ケーブルを取り外して、コンピュータに正しく電源が入るか確認します。

電気的な妨害を解消 — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整 — 電源の管理設定については、『Dell Technology Guide』を参照してください。

メモリモジュールを取り付けなおす — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします。

Windows Vista® オペレーティングシステムにおけるソフトウェアおよびハードウェアの問題のトラブルシューティング

デバイスが、オペレーティングシステムのセットアップ時に検出されない場合、または、検出されるが正確に設定されていない場合には、Windows Vista Help and Support（ヘルプとサポート）を使用して、この非互換性の問題を解決します。Windows Vista は新しいオペレーティングシステムであるため、既存のデバイスの多くには、Windows Vista 用のドライバやアプリケーションがありません。各デバイスの詳細については、お使いのハードウェアの製造元に確認してください。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。

2 **Find an answer**（回答を検索）セクションで、**Troubleshooting**（トラブルシューティング）をクリックします。

   または

   検索フィールドに、`hardware troubleshooter`（ハードウェアのトラブルシューティング）と入力して、<Enter> を押します。

3 検索結果で、問題を最も適切に説明しているオプションを選択し、そのトラブルシューティング手順に従います。

メモ： トラブルシューティングの分類項目で回答が見つからない場合は、ウィンドウの上部にある Search Help（検索ヘルプ）フィールドで、質問を入力して、オンラインヘルプを得ることができます。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Windows Vista® には、Backup and Restore Center（バックアップと復元センター）があり、コンピュータ上にある重要なファイルのバックアップやコンピュータ全体のバックアップを作成することができます。その後、必要に応じてオペレーティングシステムまたはファイルを復元できます。
- Microsoft Windows Vista のシステムの復元は、データファイルに影響させることなく、お使いのコンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。手順については、46 ページの「Windows Vista システムの復元の使い方」を参照してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属している場合は、このメディアを使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』メディアを使用すると、ハードディスクドライブ上のデータもすべて削除されます。 システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ、『オペレーティングシステム』メディアを使用してください。

Windows Vista システムの復元の使い方

Windows Vista オペレーティングシステムでは、ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定に行った変更によりコンピュータの動作が不安定な状態になった場合、システムの復元を使用してコンピュータを以前の動作状態に（データファイルに影響を与えることなく）戻すことができます。システムの復元の使い方については、Windows Help and Support Center（ヘルプとサポートセンター）を参照してください。

Windows Help and Support Center（ヘルプとサポートセンター）にアクセスするには、**Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）をクリックします。

注意 : データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

メモ : この文書に記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、Dell コンピュータを Windows クラシック表示に設定している場合には適用されません。

復元ポイントの作成

復元ポイントは、Windows Vista Back Up and Restore Center（バックアップと復元センター）から自動的に、また手動でも作成できます。Windows Vista Backup and Restore Center（バックアップと復元センター）にアクセスするには、次の 2 つの方法があります。

1 **Start**（スタート） → **Welcome Center**（ウェルカムセンター）とクリックします。**Get started with Windows**（Windows の開始）セクションで、**Show all 14 items...**（すべての 14 個の項目の表示 ...）→ **Back Up and Restore Center**（バックアップと復元センター）とクリックします。

2 **Start**（スタート） → **All Programs**（すべてのプログラム）→ **Maintenance**（メンテナンス）→ **Back Up and Restore Center**（バックアップと復元センター）とクリックします。**Tasks**（タスク）で、**Create a restore point or change settings**（復元ポイントの作成または設定の変更）をクリックします。

詳細に関しては、次の手順を実行します。

1 **Start**（スタート） → **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。

2 検索フィールドで、`System Restore`（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバのロールバックを使用して問題を解決します。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

注意 : コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **Start**（スタート） → **Control Panel**（コントロールパネル）→ **System and Maintenance**（システムとメンテナンス）→ **Backup and Restore Center**（バックアップと復元センター）とクリックします。

2 **Tasks**（タスク）の一覧で、**Repair Windows using System Restore**（システムの復元を使って Windows を修復）をクリックします。

3 アプリケーションを実行する許可を求める **User Account Control**（ユーザーアカウント制御）（UAC）ダイアログボックスで **Continue**（続行）をクリックします。

4 **System Restore**（システムの復元）ウィンドウで **Next**（次へ）をクリックして、最近の復元ポイントを日付順で表示します。

5 **Show restore points older than 5 days**（経過日数が 5 日を超えている復元ポイントを表示する）チェックボックスを選択して、復元ポイントの完全な一覧を表示します。
6 復元ポイントを選択します。最新の復元ポイントで復元を行ってください。復元しても問題が解決しない場合は、次に古い復元ポイントを試します。問題が解決するまで、この手順を繰り返します。選択した復元ポイントよりも後にインストールされたソフトウェアはすべて再インストールする必要があります。
7 **Next**（次へ）→ **Finish**（完了）とクリックします。
8 確認のメッセージが表示されたら、**Yes**（はい）をクリックします。
9 システムの復元でデータの収集が終了すると、コンピュータが再起動します。
10 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消すことができます。

復元処理中にエラーメッセージが表示された場合は、画面上の指示に従ってエラーを修正します。

最後のシステムの復元の取り消し

注意： 最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **Start**（スタート）→ **Help and Support**（ヘルプとサポート）とクリックします。
2 検索フィールドで、`System Restore`（システムの復元）と入力し、<Enter> を押します。
3 **Undo my last restoration**（以前の復元を取り消す）をクリックして、**Next**（次へ）をクリックします。

コンピュータをデフォルトの工場出荷時の構成に戻す

Dell Factory Image Restore オプションを使用すると、最初にデルから購入された時の工場出荷時の状態にハードディスクドライブを復元できます。このオプションは、Windows Vista™ があらかじめインストールされている Dell コンピュータで利用することができ、エクスプレスアップグレードプロモーションで購入されたコンピュータや、Windows の他のバージョンから Windows Vista にアップグレードしたコンピュータには表示されません。

注意： コンピュータをデフォルトの工場出荷時の構成へ復元すると、C ドライブのデータはすべて削除されます。この手順を実行する前に、個人用ファイルをバックアップしてください。個人用ファイルをバックアップしないと、データが消失します。

1 コンピュータを再起動します。コンピュータを再起動するには、**Start**（スタート） → → **Restart**（再起動）とクリックします。

2 コンピュータの再起動時に <F8> を押すと、画面に **Advanced Boot Options** メニューが表示されます。

メモ：<F8> キーは、必ず Windows のロゴが画面に表示される前に押してください。Windows のロゴが画面に表示されてから <F8> を押しても、**Advanced Boot Options** メニューは画面に表示されません。**Advanced Boot Options** メニューが表示されない場合は、コンピュータを再起動してから、画面にメニューが表示されるまでこの手順を繰り返します。

3 下矢印キーを押して、**Advanced Boot Options** メニューの **Repair Your Computer**（コンピュータの修復）を選択したら、<Enter> を押します。

4 使用する言語設定を指定し、**Next**（次へ）をクリックします。

5 管理者権限を持つユーザーとしてログインし、**OK** をクリックします。

6 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

7 **Dell Factory Image Restore** ウィンドウで、**Next**（次へ）をクリックします。

8 **Yes, reformat hard drive and restore system software to factory condition**（はい、ハードディスクドライブを再フォーマットして、システムソフトウェアを工場出荷時の状態に復元します）チェックボックスを選択します。

9 **Next**（次へ）をクリックします。コンピュータがデフォルトの工場出荷時の構成に復元されます。

10 復元操作が完了したら、**Finish**（終了）をクリックして、コンピュータを再起動します。

4

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

警告 : コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を完了します。

1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、31 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

2 Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行手順については、31 ページの「起動前セルフアセスメント（PSA）Diagnostics（診断）および Dell 32 bit Diagnostics（診断）」を参照してください。

3 54 ページの「診断チェックリスト」に必要事項を記入してください。

4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルのサポートウェブサイト（**support.jp.dell.com**）をご覧ください。デルサポートオンラインのより詳細なリストについては、52 ページの「オンラインサービス」を参照してください。

5 これまでの手順で問題が解決されない場合、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ : デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。

デルサポートの利用方法については、52 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

メモ : これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ 製品に関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 53 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、お客様の監視の下でブロードバンド接続を通じてコンピュータにアクセスし、問題の診断と修復を行うことができるようになります。DellConnect には、Dell Support Center（デルサポートセンター）からアクセスできます（35 ページの「Dell サポートセンター」を参照）。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、次の Web サイトをご覧ください。

www.dell.com/jp

www.dell.com/ap（アジア / 太平洋諸国のみ）

www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパのみ）

www.dell.com/la（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

www.dell.ca（カナダのみ）

デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび E- メールアドレスをご利用ください。

- デルサポートサイト
  support.jp.dell.com

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com （ヨーロッパのみ）
- デルサポートの E- メールアドレス
  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

  apsupport@dell.com （アジア / 太平洋諸国）
- デルのマーケティングおよびセールスの E- メールアドレス
  apmarketing@dell.com （アジア / 太平洋諸国）

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。 音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、誤った部品、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト **www.dell.com** をご覧ください。お住まいの地域での電話番号、または販売担当者の電話番号については、55 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

『DELL パソコンかんたんスタートアップガイド』をご覧ください。

お問い合わせになる前に

メモ : お電話の際には、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードがあると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、スタッフが(コンピュータの背面または底部にある)サービスタグナンバーをお尋ねする場合もございます。

診断チェックリストに前もってご記入ください(54 ページの「診断チェックリスト」を参照)。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからコマンドを入力したり、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告 : コンピュータ内部での作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の「安全にお使いいただくための注意」に従ってください。

診断チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー (コンピュータ背面または底面のバーコードの番号)：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか ? はい　いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。

メモ：インターネット接続の環境にない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、Contacting Dell techsheet（デルへのお問い合わせテックシート）、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また、地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせは次の手順を実行します。

1 **support.jp.dell.com** をご覧ください。
2 ページの下にある **Choose A Country/Region**（国 / 地域の選択）ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
3 ページの左側にある **Contact Us**（お問い合わせ）をクリックします。
4 目的のサービスまたはサポートを選択します。
5 自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選びます。

付録

FCC 規定（米国 のみ）

FCC クラス B

この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。製造元のマニュアルに従わずに取り付けて使用した場合、ラジオやテレビに受信障害を生じさせる場合があります。本装置は、試験の結果、FCC 規則パート 15 に準拠するクラス B デジタル装置の規制に適合しています。

この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規定の第 15 項に適合しています。次の 2 つの条件に従って使用してください。

- 本装置が有害な障害を引き起こさないこと。
- 本装置は、受信障害を起こすと、望ましくない操作が必要になる場合もあります。

注意 : FCC 規則では、Dell Inc. によって明確に許可されていない変更修正を行った場合、その装置を使用する権限が無効になることがあると規定されていますのでご注意ください。

この規制は、個人の家に取り付けた場合に、有害な障害に対する適正な保護を提供するよう設計されています。ただし、特定の設定で電波障害が発生しないという保証はありません。本装置のスイッチをオンオフすることにより、本装置がラジオやテレビに受信障害を引き起こしていることが確認された場合は、次の方法をお試しになるようお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に注意してシステムの位置を変えてください。
- システムを受信機から離して置いてください。
- システムを別のコンセントに差し込み、システムと受信機の分岐回路が異なるようにしてください。

必要に応じて、弊社のカスタマーケアまたはラジオ / テレビの経験を積んだ技術者に連絡し、アドバイスをもらってください。

次の情報は、FCC 規則に準拠する本書で取り扱う装置に関するものです。

製品名：	Dell™ Studio 1535/1536
モデル番号：	PP33L
会社名：	Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国 特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

索引

は

め

も